

きれいな水を川に返すまで



汚水



マンホール

ポンプ

水を汲み上げる装置です。

下水道管

現在は、市内の約96%に下水道が普及しています。地理的条件や、生活状況などを踏まえ、51処理区、50力所の処理場を設けています。下水道管は約780kmにも及び、この他にポンプ場1カ所、マンホールポンプ273カ所と、全国的にみても非常に多くの施設があります。

令和2年 企業会計に移行

処理施設数が50カ所に

平成17年 市町村合併

順次下水道区域を拡張

昭和59年

が稼働

昭和54年 下水道事業開始
下水道センター（冬頭町）

【下水道事業のあゆみ】

処理場

沈砂池

土砂やごみを取り除きます。



予備エアレーション

汚水の腐敗を防ぎ、沈殿効果をもとめ、空気を吹き込みます。



最初沈でん池

固形物の大部分を沈殿させます。



エアレーションタンク

微生物を活性化させ、汚水を処理します。



水質検査



処理場で発生した汚泥は焼却処分します。



塩素混和池

塩素を加えて消毒し、川に流します。



最終沈でん池

再度沈殿させ、水と汚泥を分けます。

雨水管や水路

雨水



川



☑ ご存知ですか？ 下水道の役割

下水道には大きく4つの役割があります。

- ◆川や海を美しく保ち、豊かな自然を守ること〈水質保全〉
- ◆水路の汚れや悪臭などをなくして、まちを衛生的にすること〈都市整備〉
- ◆水洗トイレが使えるようになること〈生活環境向上〉
- ◆雨が降ってもまちが水浸しにならないようにすること〈浸水対策〉

下水道がないと、汚水が川にそのまま流れてしまい、悪臭や害虫などが発生してしまいます▶

